



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

令和3年度（2021年度）
**北海道原子力防災訓練
実施結果報告書**

令和4年（2022年）3月

北海道・泊村・共和町・岩内町・神恵内村・
寿都町・蘭越町・二セコ町・倶知安町・
積丹町・古平町・仁木町・余市町・赤井川村

はじめに

北海道原子力防災訓練は、北海道防災会議が策定した「北海道地域防災計画（原子力防災計画編）」、泊村、共和町、岩内町、神恵内村で組織する泊発電所原子力防災会議協議会が策定した「泊発電所周辺地域原子力防災計画」及び寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村が策定した「地域防災計画（原子力防災計画編）」、「泊地域の緊急時対応（国、道及び関係町村の原子力災害対策を一体的に取りまとめたもの）」に基づき、住民避難訓練や災害対策本部の設置運営訓練などを組み合わせて総合的に実施する訓練（以下、「総合訓練」という。）や、要素ごとに実施する訓練（以下、「要素訓練」という。）により構成され、昭和63年度以降、毎年度実施している。

今年度の総合訓練は、令和3年（2021年）10月に、原子力災害と新型コロナウイルス感染症流行下における台風による暴風雨との複合災害を想定し、感染症対策を講じながら意思決定訓練と実動訓練を連動させて1日間の日程で実施した。意思決定訓練では、オフサイトセンターに国や道などの防災関係機関の要員が参集し、新型コロナウイルス感染症流行下での台風との複合災害時における防護措置の調整・確認を行った。実動訓練では、事態の推移に応じて、PAZとUPZの区分に応じた段階的な住民避難に加え、台風被害に伴い開設した感染症対策を講じた避難所での屋内退避、孤立地区を想定したヘリコプター、装甲車による住民避難を実施したほか、避難バス運転手等の安全確保のための情報伝達、さらには避難退域時検査などの原子力災害医療活動訓練に取り組んだ。

また、要素訓練では、オフサイトセンターが機能不全に陥った場合を想定し、令和4年（2022年）2月に代替オフサイトセンター開設・運営訓練を実施した。この他、毎月1回を基本に関係町村・関係機関に設置されている「原子力防災ネットワーク専用回線」を使用した通信連絡訓練、緊急時環境放射線モニタリング訓練などを通じて防災業務関係者の技術向上に取り組んだ。

本報告書は、訓練の記録として取りまとめたほか、訓練終了後に関係機関等に行った事後調査等を基に得られた課題等を整理し、次年度以降の訓練に資するものである。



目 次

第1 総合訓練

1	目 的	1
2	実施日時	1
3	主 催	1
4	場 所	1
5	対象施設	1
6	参加・協力機関	1
7	訓練想定	5
8	訓練内容	7
9	訓練イベント時刻	16
10	住民避難訓練整理表	18
11	訓練実施場所図	19
12	事前準備・結果報告等	20

第2 代替オフサイトセンター開設・運営訓練

1	目 的	21
2	実施日時	21
3	主 催	21
4	場 所	21
5	対象施設	21
6	参加・協力機関	21
7	訓練想定	22
8	訓練内容	22

第3 課題等整理表

1	総合訓練	23
2	代替オフサイトセンター開設・運営訓練	33

第4 要素訓練

1	通信連絡訓練	37
2	原子力災害対策本部及びオフサイトセンター訓練（図上演習）	37
3	緊急時モニタリング訓練	38
4	原子力災害医療研修会	38
5	その他研修	39
6	地域学習会	39

<参 考>

■	北海道原子力防災訓練の実施状況（平成24年度～令和3年度）	40
■	原子力災害に備えた屋内退避マニュアル	46
■	緊急時における防護措置の概要	52

第1 総合訓練

1 目的

防災関係機関が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚や、防災対策に関する理解促進を図る。

2 実施日時

令和3年(2021年)10月28日(木) 8:30~14:30

3 主催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村

4 場所 [実動訓練場所]

泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村、留寿都村、札幌市

5 対象施設

北海道電力株式会社 泊発電所(3号機)

6 参加・協力機関

防災関係機関等 345機関(防災業務関係者 3,207人)

(1) 北海道警察 … <1>

(警察本部、札幌方面岩内警察署、札幌方面余市警察署、札幌方面倶知安警察署)

(2) 北海道教育委員会 … <1>

(北海道教育庁、後志教育局)

(3) 市町村 … <23>

札幌市、小樽市、島牧村、黒松内町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、千歳市、北広島市、江別市、洞爺湖町、豊浦町、伊達市、室蘭市、苫小牧市、登別市、壮瞥町、白老町、むかわ町、安平町、厚真町、長万部町

(4) 消防機関 … <3>

岩内・寿都地方消防組合(消防本部、岩内消防署、泊支署、共和支署、神恵内支署、寿都支署)

北後志消防組合(消防本部、余市消防署、古平支署、積丹支署、仁木支署、赤井川支署)

羊蹄山ろく消防組合(消防本部、倶知安消防署、蘭越支署、二セコ支署)

(5) 関係省庁 … <3>

原子力規制委員会原子力規制庁、泊原子力規制事務所、内閣府

(6) 指定地方行政機関 … <7>

北海道総合通信局、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局、気象庁札幌管区气象台、海上保安庁第一管区海上保安本部、環境省北海道地方環境事務所

(7) 自衛隊 … <3>

陸上自衛隊北部方面隊、海上自衛隊大湊地方隊、航空自衛隊北部航空方面隊

(8) 指定公共機関 … <2>

北海道電力ネットワーク(株)、(国研)日本原子力研究開発機構

(9) 指定地方公共機関 … <2>

(一社)北海道薬剤師会、(一社)北海道バス協会

(10) 公共的団体等 … <9>

古宇郡漁業協同組合、岩内郡漁業協同組合、寿都町漁業協同組合、東しゃこたん漁業協同組合、余市郡漁業協同組合、きょうわ農業協同組合、余市町農業協同組合、新おたる農業協同組合、余市水産加工業協同組合

(11) 協力企業等 … <12>

北海道中央バス(株)、札幌第一観光バス(株)、札幌観光バス(株)、(株)じょうてつ、道南バス(株)、東芝ITサービス(株)、(株)日立製作所ヘルスケア北海道支店、扶桑電通(株)、北海道クリエティブ(株)、(株)日立パワーソリューションズ、(株)日立物流東日本、チュウケイ(株)

(12) 原子力事業者 … <1>

北海道電力(株)(本店、泊発電所)

(13) 医療機関 … <9>

北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学、伊達赤十字病院、(一社)北海道放射線技師会、北海道社会事業協会岩内病院、小樽市立病院、北海道社会事業協会余市病院、北見赤十字病院(日本赤十字社北海道支部)

(14) 学校・幼稚園・児童福祉施設 … <108>

【泊村】泊村立泊小学校、泊村立泊中学校、とまり保育所、【共和町】共和町立南幼稚園、共和町立中央保育所、共和町立北幼稚園、共和町立へき地保育所、共和町立東陽小学校、共和町立北辰小学校、共和町立西陵小学校、共和町立共和中学校、【岩内町】高田幼稚園、岩内幼稚園、岩内町立岩内東小学校、岩内町立岩内西小学校、岩内町立岩内第一中学校、岩内町立岩内第二中学校、北海道岩内高等学校、岩内町東山保育所、岩内町中央保育所、岩内町西保育所、岩内厚生園、児童デイサービスチャレンジキッズどんぐり、ファミリーホームろっく、NPO法人はなうた・はみんぐfunいわない、【神恵内村】神恵内小学校、神恵内中学校、神恵内保育所、【寿都町】寿都町立寿都小学校、寿都町立潮路小学校、寿都町立寿都中学校、北海道寿都高等学校、寿都保育園、歌棄洗心学園、【蘭越町】蘭越ひばり幼稚園、蘭越町立蘭越小学校、蘭越町立昆布小学校、蘭越町立蘭越中学校、北海道蘭越高等学校、蘭越保育所、北海愛星学園、昆布保育所、【ニセコ町】ニセコ町幼児センター、ニセコ町立ニセコ小学校、ニセコ町立近藤小学校、ニセコ町立ニセコ中学校、ニセコ町立北海道ニセコ高等学校、北海道インターナショナルスクールニセコ校【倶知安町】倶知安幼稚園、倶知安藤幼稚園、倶知安めぐみ幼稚園、倶知安町立倶知安小学校、倶知安町立西小学校、倶知安町立西小学校樺山分校、倶知安町立北陽小学校、倶知安町立東小学校、倶知安町立倶知安中学校、北海道倶知安農業高校、くっちゃん保育所ぬくぬく、リトル・ナーサリー・スクールCLAIR、なかよし子供館、児童チャレンジサポートさやえんどう、羊蹄山ろく発達支援センター、倶知安町立北児童

館、倶知安町立南児童館、【積丹町】積丹町立美国小学校、積丹町立日司小学校、積丹町立野塚小学校、積丹町立余別小学校、積丹町立美国中学校、積丹町立びくに保育所、みなと保育所、【古平町】古平町立古平小学校、古平町立古平中学校、認定こども園ふるびら幼児センターみらい、児童デイ多機能型事業所ひまわりくらぶ、【仁木町】仁木町立銀山小学校、仁木町立仁木小学校、仁木町立銀山中学校、仁木町立仁木中学校、北海道芸術高等学校仁木本校、にき保育園、櫻ヶ丘学園、大江へき地保育所、銀山へき地保育所、【余市町】余市町立登小学校、余市町立黒川小学校、余市町立大川小学校、余市町立沢町小学校、余市町立東中学校、余市町立旭中学校、余市町立西中学校、北海道余市養護学校、北海道余市紅志高等学校、北星学園余市高等学校、学校法人北海道キリスト教学園リタ幼稚園、認定こども園杉の子幼稚園、北後志母子通園センター、余市町立中央保育所、余市町立大川保育所、(福)徳風会ほうりゅうじ保育園、黒川児童館、沢町児童館、地域小規模児童養護施設さくら、【赤井川村】赤井川小学校、都小学校、赤井川中学校、赤井川村へき地保育所

(15) 病院・社会福祉施設 … <114>

【泊村】泊村養護老人ホームむつみ荘、泊村特別養護老人ホームむつみ荘、【共和町】地域活動支援センター前田の家、共和町いきいきセンター、共和町特別養護老人ホームみのりの里共和、デイサービスセンターみのりの里共和、【岩内町】医療法人岩内大浜医院、岩内あけぼの学園、ベーカーリーサンライズ、介護老人福祉施設岩内ふれ愛の郷、介護老人保健施設コミュニティホーム岩内、岩内町デイサービスセンター、グループホーム「そよかぜ」岩内、介護付有料老人ホーム七福神恵比寿館、【神恵内村】神恵内村高齢者グループホーム「かもめの家」、神恵内ハイツ998、神恵内村老人福祉寮「生き生きホーム998」、神恵内村高齢者共同生活支援施設「友遊館」、【寿都町】寿都町立寿都診療所、歌楽慈光園、ワークランド歌楽、はまなす寮、寿都しおさい学園、寿都浄恩学園、寿都寿海荘、寿都デイサービスセンター、【蘭越町】医療法人社団静和会昆布温泉病院、蘭越診療所、蘭越町立昆布診療所、特別養護老人ホーム一灯園、高齢者グループホームらんこし、蘭越町通所介護事業所こんぶ、蘭越町通所介護事業所、高齢者生活福祉センターこんぶ、高齢者生活福祉センターめな、【ニセコ町】医療法人ニセコ医院、特定非営利活動法人ニセコ生活の家、特別養護老人ホームニセコハイツ、(福)ニセコ福祉会ニセコ町デイサービスセンター、(福)ニセコ福祉会ニセコ町グループホームきら里、【倶知安町】障がい者就労支援施設羊蹄セルブ、J A北海道厚生連(倶知安)厚生病院、いきるよろこび「うたり」、人と人をつなぐ陽だまり、グループホームそら、グループホームかぜ、グループホームゆめ、福祉ホーム羊蹄、共同生活援助事業あゆ〜む、障がい者就労支援事業所ワークショップようてい、グループホームよろこび(グループホームえがお、グループホームここに、グループホームしずく)、ワークステーション輝、夢のたくみ、羊蹄ハイツ、デイサービスセンター羊蹄ハイツ、介護老人保健施設麓華苑、グループホーム羊蹄、認知症対応型共同生活介護縁、認知症対応型共同生活介護絆、デイサービスろっかえん、倶知安町老人デイサービスセンター、リハビリ特化型サービスカラダラボ、【積丹町】積丹町立国民健康保険診療所、積丹町エイジングステーションやすらぎ、地域密着型特別養護老人ホームゆうり、【古平町】共働の家、みっくすベジタ、きょうどう、地域生活総合支援センターいこいの家、若者宿、つどい、古平町高齢者生活支援センター元気プラザ、古平町デイサービスセンター、夕凧、朝凧、デイサービスセンターのどか、グッドケア、ほほえみくらす、古平町立診療所海のまちクリニック、【仁木町】医療法人社団森内科胃腸科医院、(福)後志報恩会銀山学園、(福)後志報恩会大江学園、(福)後志報恩会えんれいそう、(福)後志報恩会陽だまり、(福)後志報恩会ふきのとう、あんごの森「銀山」、回復の森「銀山」、(福)仁木福祉会グループホーム仁木やすらぎの里、(福)仁木福祉会デイサービス仁木やすらぎの里、(福)仁木福祉会仁木長寿園、【余市町】余市幸住学園、余市豊浜学園、グループホーム希林荘、どりーむ・わーくす、あおぞら、介護老人保健施設よいち、グループホームこもれば、フルーツ・シャトーよいち、養護老人ホームかるな和順、NPO法人ロータス会、グループホーム美優さくらんぼ、グループホーム夢、グループホームボランの家、デイサービスまごころ、GRACE310モイレ、ハッピーサポート花ごころ、サービス付高齢者住宅ふる一つの郷、サービス付高齢者住宅ぬくもりの郷、小規模多機能型居宅介護事業所ほっとハウスよいち、カラダラボ余市、介護医

療院なかじま、中島内科、【赤井川村】グループホームあまらんす、グループホームあまらんす2号館

(16) その他機関 … <47>

【泊村】泊村社会福祉協議会、泊村商工会、【共和町】共和町農業開発センター、共和町学校給食センター、西村計雄記念美術館、共和町かかし古里館、共和町社会福祉協議会、共和町商工会、ワイス温泉、【岩内町】岩内地域人材開発センター、(株)いわない高原ホテル、ホテルグリーンパークいわない、いわない温泉高島旅館、いわない温泉おかえりなさい、ホテルいのう、岩内マリンホテル、ホテルENVY、ホテルENVY(新館)、ベイホテルいわない、岩内町老人福祉センター、働く婦人の家、岩内商工会議所、【神恵内村】神恵内村商工会、旅館恵比須屋、民宿きのえ荘、【寿都町】(株)寿都振興公社、港前庵、ペンションMellow、【蘭越町】蘭越町交流促進センター幽泉閣、蘭越町交流促進センター雪秩父、【ニセコ町】ニセコ町社会福祉協議会、(株)ニセコリゾート観光協会、【倶知安町】倶知安観光協会、【積丹町】(福)積丹町社会福祉協議会、【古平町】古平町商工会、日本海ふるびら温泉しおかぜ、(福)古平町社会福祉協議会、(福)古平福祉会、【仁木町】NPO法人銀山さわやか福祉NPO、仁木町観光協会、【余市町】エーヴランドホテル、【赤井川村】キコロリゾートホールディングス(株)、【札幌市】シャトレゼガトーキングダムサッポロ、(公社)北海道国際交流・協力総合センター、(地独)北海道総合研究機構、【留寿都村】ルスツリゾート、【その他】(公財)原子力安全技術センター

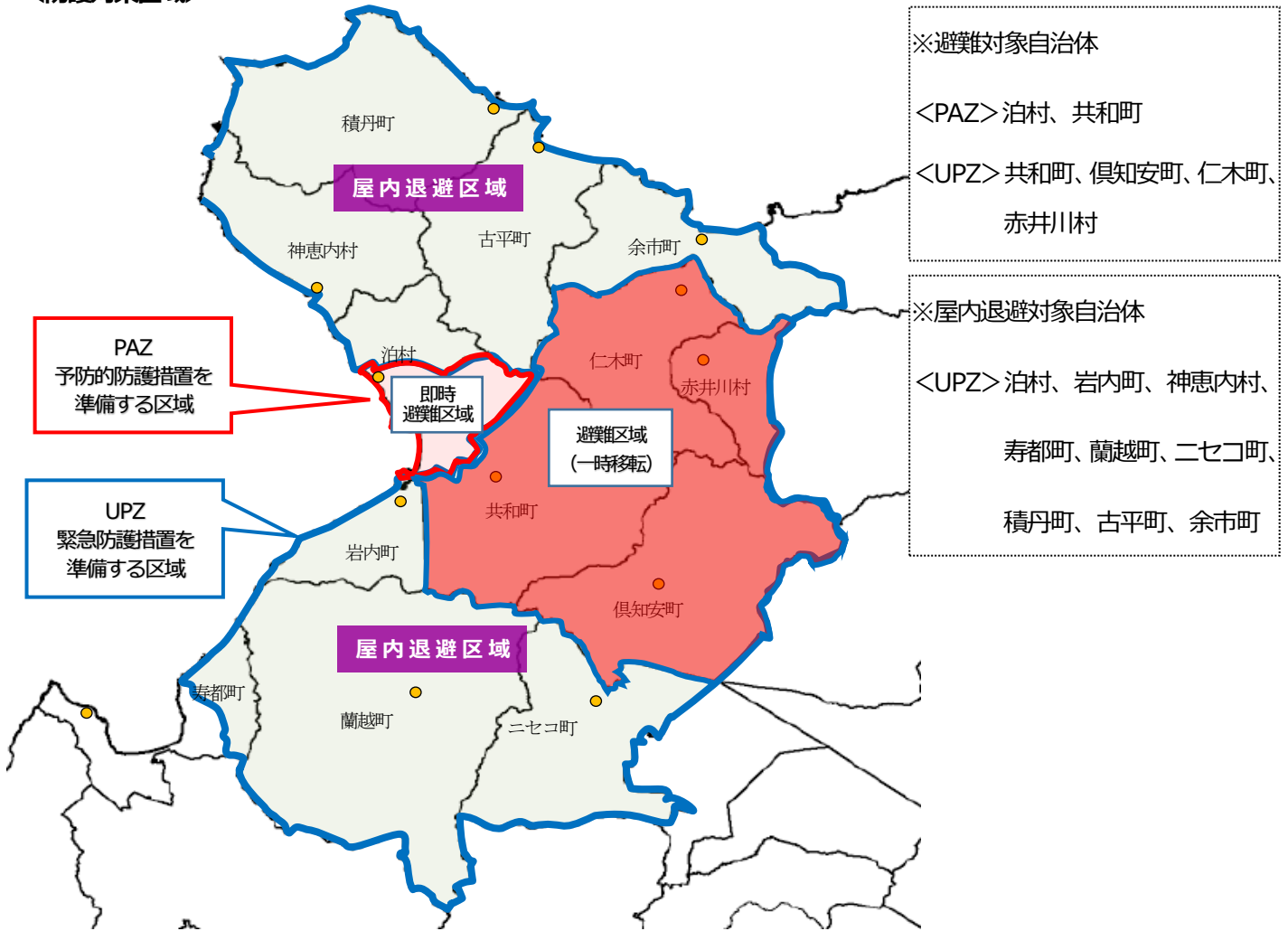
7 訓練想定

新型コロナウイルス感染症流行下において、後志地方に台風が接近及び上陸し、暴風雨による被害が発生する中、北海道電力株式会社泊発電所3号機において原子炉の一次冷却材が漏えいし、原子炉が停止。複数の設備故障により原子炉の冷却が不能となり、原子力災害に至る。

時刻	事態	事故	要請・指示	対象自治体
訓練前日 ～	※後志地方に、大型台風が上陸 (大雨・暴風警報発表中)			
3:30		泊発電所3号機の定格熱出力一定運転中(1・2号機は停止中)に、一次冷却材漏えいの確認。		
4:00	EAL(AL)〔警戒事態〕 警戒事態発生通報	一次冷却材の漏えい量が増加し、原子炉手動停止。その後、加圧器水位低下による非常用炉心冷却設備の手動作動。	PAZ及びUPZ町村は連絡体制の確立 PAZ要避難者の避難準備	PAZ及びUPZ(関係13町村) PAZ(泊村・共和町)
6:00 ※想定	EAL(SE)〔施設敷地緊急事態〕 原災法第10条事象の発生通報	設備故障等により、非常用炉心冷却設備による原子炉への注水が一部不能。	PAZ要避難者の避難 ※大雨・暴風警報発表中は、屋内退避を継続し、避難は天候や避難経路等を確認の上、実施する。 PAZ住民の避難準備 UPZ住民の屋内退避準備	PAZ(泊村・共和町) UPZ(関係13町村)
8:30 訓練開始				
9:20	※大雨・暴風警報解除		※PAZ要避難者の避難開始	
9:30	EAL(GE)〔全面緊急事態〕 原災法第15条事象の発生通報 →原子力緊急事態宣言発出	全交流電源喪失により、非常用炉心冷却設備による原子炉への注水不能。	PAZ住民の避難 UPZ住民の屋内退避	PAZ(泊村・共和町) UPZ(関係13町村)
10:45時点で時間を2日間スキップ(放射性物質放出からOIL2超過区域の特定まで) (この間に放射性物質の放出・収束)				
11:15			UPZ一部区域(OIL2超過区域)住民の一時移転	UPZ(共和町、倶知安町、仁木町、赤井川村)
12:30	事故収束(格納容器自然対流冷却開始)の連絡	格納容器の長期的な冷却が可能となり事態収束の方向		
14:30 訓練終了				

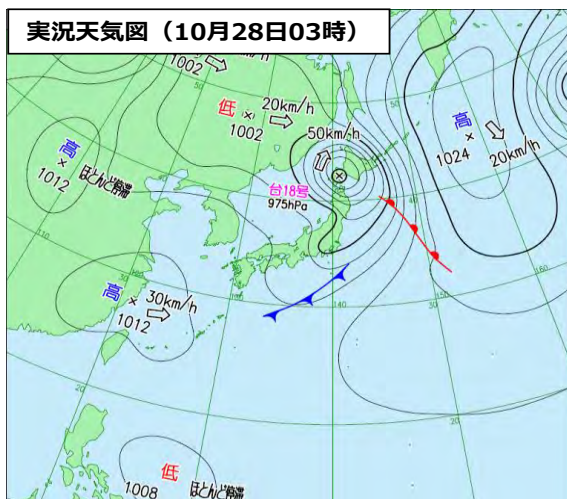
*原子力発電所では、事故発生に備え、何重もの安全装置が設置されています。訓練においては、事故の進展想定に沿って、これら安全装置が故障等により正常に作動しない事態を想定しました。

<防護対策区域>



<台風想定>

(1) 10月28日3時の状況

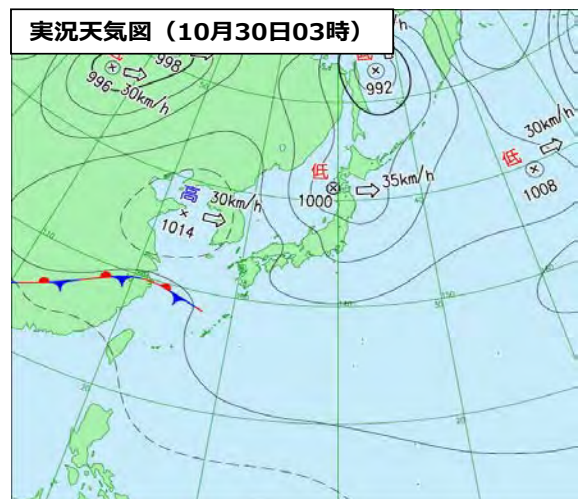


【気象状況】

◆台風第XX号は北北東に進み、28日01時に檜山地方に再上陸した。後志地方には台風本体の雨雲がかかり、大雨のピークとなっている。

◆10月28日02時30分
蘭越町、二七〇町、俱知安町、共和町、岩内町、仁木町、余市町、赤井川村に土砂災害警戒情報を発表。

(2) 10月30日3時の状況



【気象状況】

◆上空に寒気を伴った低気圧の影響で、後志地方には活発な雷雲がかかり、局地的に大雨となっている。30日朝にかけて、大雨による土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒が、落雷、突風に十分注意が必要。

◆10月30日00時15分
後志北部、後志西部、羊蹄山麓に大雨警報（土砂災害、浸水害）、洪水警報を発表。雷注意報を継続。
◆10月30日02時20分
蘭越町、二七〇町、俱知安町、共和町、岩内町、仁木町、余市町、赤井川村に土砂災害警戒情報を発表。

8 訓練内容

(1) 重点活動項目

次に掲げる事項を重点活動項目として、災害対策本部の設置運営訓練及び住民避難訓練などの要素訓練を組み合わせた総合訓練を実施した。

<重点活動項目>

- ◆緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）運営訓練
 - ・各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況の収集・整理
 - ・スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有
 - ・新型コロナウイルス感染症流行下での台風及び大雨被害との複合災害時における防護措置に係る防災関係機関との対応の調整
- ◆住民避難手順の確認訓練
 - ・バス避難のための集合場所の開設
 - ・感染症対策を講じた避難所の開設
 - ・多様な手段による孤立地区等の住民（見立て）避難 ※
- ◆緊急時モニタリング訓練
 - ・緊急時モニタリングセンター（EMC）を拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携
 - ・緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達
 - ・空間放射線量率の測定、環境試料の採取・分析
- ◆原子力災害医療活動手順の確認訓練
 - ・安定ヨウ素剤の緊急配布（見立て） ※
 - ・避難圏域時検査場所の開設と運営（見立て） ※

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、住民参加による避難訓練は中止とし、職員等を住民に見立てて訓練を実施。

(2) 各要素訓練

訓練項目ごとに主要活動項目を設定し、その活動に必要な対応動作や手順の確認を行った。

ア 災害対策本部等設置運営訓練

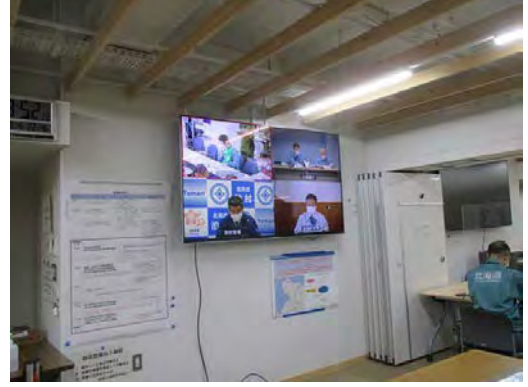
道及び関係13町村は、災害対策本部を設置し、事態の推移に応じて本部員会議やTV会議を開催し、本部内や防災関係機関と情報共有を図った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 北海道教育委員会 北海道警察本部	<本庁> <input type="checkbox"/> 道災害対策本部の設置・運営（指揮室） <input type="checkbox"/> 道災害対策本部員会議の開催（3階テレビ会議室） <input type="checkbox"/> TV会議 [道庁-OFC-関係13町村] による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> 住民避難用バスの手配等に係る連絡調整 <OFC> <input type="checkbox"/> 道現地災害対策本部の設置・運営 <input type="checkbox"/> 住民避難用バスの手配等に係る連絡調整
関 係 1 3 町 村	<input type="checkbox"/> 各町村災害対策本部の設置・運営 <input type="checkbox"/> TV会議 [道庁-OFC-関係13町村] による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> 住民避難用バスの手配等に係る連絡調整
原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 本店及び泊発電所にて原子力災害対策本部の設置・運営

<道災害対策本部員会議（OFC等とTV会議）>



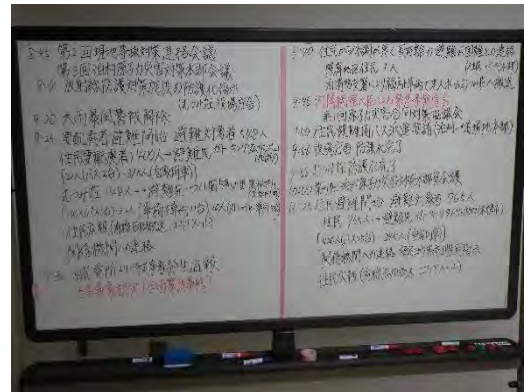
<道災害対策本部（指揮室での共有）>



<道現地本部での活動>



<災害対応の整理（泊村）>



<災害対策本部員会議（共和町）>



<災害対策本部員会議（倶知安町）>



<災害対策本部員会議（仁木町）>



<停電地区への電源供給の要請（赤井川村）>



イ 緊急事態応急対策等拠点施設 (OFC) 運営訓練

OFCに、国、道、関係13町村及び防災関係機関から、あらかじめ定められた要員（32機関117名）が参集し、体制を構築して、事故の状況や防災関係機関の対応状況を把握しながら、必要な情報共有を図り、新型コロナウイルス感染症流行下での複合災害時における防護措置の調整・確認を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
内 閣 府 原 子 力 規 制 庁 泊原子力規制事務所 北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況を収集・整理 <input type="checkbox"/> スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症流行下での複合災害時における防護措置に係る防災関係機関との対応の調整 <input type="checkbox"/> 事態の推移に応じた防護措置の作成・取りまとめ <input type="checkbox"/> 現地事故対策連絡会議（EAL（SE）段階）や原子力災害合同対策協議会（EAL（GE）段階）の開催 <input type="checkbox"/> TV会議〔道庁－OFC－関係13町村〕による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> ヘリ・道路カメラからの映像伝送による情報収集

<原子力災害合同対策協議会>



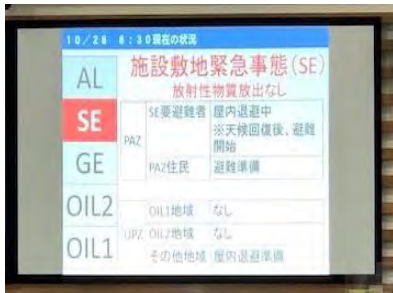
<住民避難経路の調整>



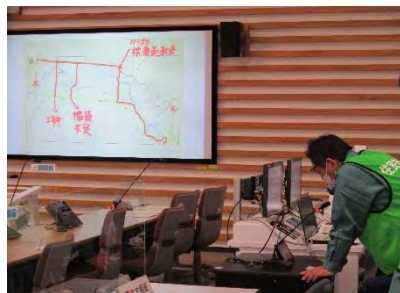
<実動組織の活動>



<スクリーン表示による情報共有>



<スクリーンを活用した迂回路の検討>



<映像中継による住民避難状況の共有>



※OFCにおける感染症対策については、次のとおり実施した。

- ・入館時に体調確認を行い、37.5℃以上の発熱者や体調不良者は訓練不参加
- ・要員等は、マスク及びフェイスシールドを着用して活動
- ・各機能班等にアクリル板を設置するとともに、手指消毒液を設置
- ・訓練実施2週間前からの体調確認と報告

ウ 緊急時通信連絡訓練

各種通信手段を用いた事故状況や対応状況等に関する防災関係機関相互の通報連絡及び関係機関への情報伝達を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
全 機 関	<input type="checkbox"/> 電話及びFAX（一般回線及び専用回線）、防災行政無線を用いた防災関係機関相互の通報連絡 <input type="checkbox"/> 避難先自治体等への事故状況の伝達や避難受入要請

＜関係機関への連絡（泊村）＞



＜関係機関への連絡（赤井川村）＞



＜消防へ町内広報の指示（具知安町）＞

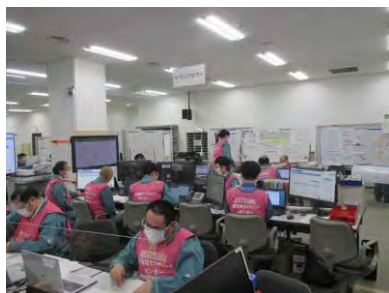


エ 緊急時モニタリング訓練

国の統括のもと、OFC内に緊急時モニタリングセンター（EMC）を設置し、国、道、関係13t町村、原子力事業者、関係指定公共機関と連携し、緊急時における環境放射線のモニタリング活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
原 子 力 規 制 庁 北 海 道 関 係 1 3 町 村 原 子 力 事 業 者 関 係 指 定 公 共 機 関	<input type="checkbox"/> EMCを拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング実施計画に基づく空間放射線量率の測定、環境試料の採取・分析（測定200地点・2ルート） <input type="checkbox"/> 放射線モニタリング情報共有システム等によるモニタリング情報の収集、整理、確認及び報告 <input type="checkbox"/> OFC放射線班等への緊急時モニタリング結果の提供及び情報共有 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング要員の被ばく管理

＜EMCの活動＞



＜環境試料の前処理＞



＜屋外活動要員の汚染検査＞



＜モニタリングカーの出動＞



＜航空機によるモニタリング＞



オ 広報訓練

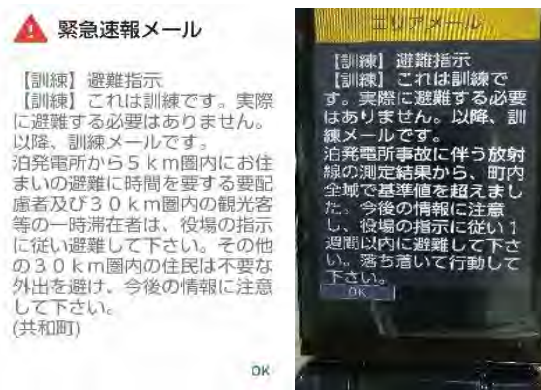
関係13町村の住民等に対し、防災行政無線や広報車等による広報のほか、緊急速報メールやホームページ、Twitterによる多言語での情報発信など多様な手段を活用した広報を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関	<input type="checkbox"/> 防災行政無線や広報車などによる住民広報 <input type="checkbox"/> 電話及びFAX（一般回線）等を用い、関係13町村の要配慮者施設（医療機関・社会福祉施設等）や宿泊施設に対する情報伝達 <input type="checkbox"/> 緊急速報メールを活用し、多言語による避難指し等を配信 <input type="checkbox"/> 道ホームページ・Twitterを利用した多言語による情報発信

<広報車による住民広報（共和町）>



<緊急速報メール>



<防災無線による住民広報（仁木町）>



<Twitter発信>



カ 住民避難手順の確認訓練

各町村の避難計画を基本として、防災関係機関と連携しながら、EAL、OILの判断基準に基づき、住民等の安全確保を優先して屋内避難や避難等の防護措置を段階的に実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北海道 関係13町村 防災関係機関 避難受入自治体	<input type="checkbox"/> バス避難のための集合場所の開設（レイアウト図の掲示） <input type="checkbox"/> バス等を利用した避難手順確認（バス避難における感染症対策の実施） <input type="checkbox"/> 要配慮者（児童や社会福祉施設入所者など）の屋内退避・避難手順確認 <input type="checkbox"/> 放射線防護施設における屋内退避・出入管理 <input type="checkbox"/> 避難受入自治体の協力による一時滞在場所の設置・運営 <input type="checkbox"/> 感染症対策を講じた避難所の開設 （台風被害により自宅での屋内退避が困難となった場合の避難所開設） <input type="checkbox"/> 外国人への多言語による情報伝達 <input type="checkbox"/> 陸路・空路を用いた孤立地区等の避難 <input type="checkbox"/> 警察官による避難経路緊急迂回誘導 （事前に詳しい情報を付与しないブラインド方式により実施） <input type="checkbox"/> バス運転手等民間事業者の防護対策（車両動態管理及び情報伝達）

※職員等を住民に見立てて訓練を実施。

●参加者数 7,717 人（住民見立て避難 55 人、屋内退避 7,662 人）

【避難指示区域】

※（ ）内は屋内退避者

区分	町村名	避難者数	避難方法
PAZ	泊村	10 (-)	福祉車両1台
	共和町	1 (-)	福祉車両1台
UPZ	共和町	7 (609)	バス1台、福祉車両1台、普通車両1台
	倶知安町	10 (2,796)	バス1台、自衛隊ヘリ1台
	仁木町	10 (596)	バス1台、装甲車2台
	赤井川村	7 (-)	バス1台
その他	その他訓練要員 ※避難地域時検査のみ実施	3 (-)	バス1台、普通車両1台
合 計		48 (4,001)	バス5台、福祉車両3台、普通車両2台、 装甲車2台、自衛隊ヘリ1台

【その他区域】

町村名	避難者数	避難方法
UPZ町村合計	7 (3,661)	岩内町は独自訓練としてバス集合場所までの避難等を実施

<バス集合場所の受付>



泊村

<バスによる避難>



赤井川村

<在宅要配慮者の防護施設への屋内退避>



泊村特別養護老人ホームむつみ荘

＜学校内での屋内退避＞



共和町立北辰小学校

＜感染症対策を講じた避難所運営＞



俱知安町総合体育館

＜一時滞在場所の受付＞



札幌市手稲区体育館

＜外国人への多言語による情報伝達＞



道庁別館地下大会議室

＜浸水家屋等からのヘリによる救助＞



俱知安町下水終末処理場



俱知安町中央公園

＜孤立地区の装甲車による避難＞



仁木町銀山学園

＜通行止めによる迂回路への緊急誘導＞



共和町バス

キ 原子力災害医療活動訓練

関係医療機関等と連携して原子力災害時における医療活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 町 村 関 係 医 療 機 関 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 安定ヨウ素剤の緊急配布 <input type="checkbox"/> 避難撤退域時検査場所を開設し、避難車両や避難住民の放射性物質付着検査、簡易除染【キロロリゾート】 <input type="checkbox"/> 医療機関への患者搬送（発電所内被ばく傷病者）と受入施設での医療措置

※職員等を住民に見立てて訓練を実施。

＜安定ヨウ素剤の緊急配布＞



共和町



仁木町

＜避難車両の検査（ゲート型モニタ）＞



赤井川村キロロリゾート

<避難車両の検査（サーバイメータ）>



赤井川村キロロリゾート

<避難車両の除染>



赤井川村キロロリゾート

<避難車両の除染>



赤井川村キロロリゾート

<避難住民の検査>



赤井川村キロロリゾート

<検査済証の交付>



赤井川村キロロリゾート

<原子力災害医療協力機関での被ばく傷病者受入れ>



岩内協会病院

ク 電力供給訓練

停電発生を想定した発電機車による電力供給訓練を実施した。

機 関	主要活動項目
北海道 関係町村 防災関係機関 原子力事業者	□停電発生を想定した発電機車による電力供給 【赤井川村生活改善センター】

<停電地域への緊急な電力供給>



赤井川村生活改善センター

ケ その他

(事故拡大防止訓練)

泊発電所において、全交流電源喪失となった場合に備え、可搬型代替電源車による給電訓練を行った。

<可搬型代替電源車による給電>



北海道電力(株) 泊発電所